


第2次総合計画施策評価シート《令和4年度分》

施策コード	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
5	施策目標	2	道路・交通網の充実
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		
	目標9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する		
			

目指すべきまちの姿	国道や県道、市道を中心とした道路ネットワークが充実し、鉄道やコミュニティバス等の公共交通の利用も進み、便利で安全・快適な移動手段が確保されています。
-----------	--

●主要施策と概要【PLAN】	この1年間の成果及び反省点【DO】	担当課	評価【CHECK】
(1) 都市計画道路の整備 ・都市計画道路徳波通線をはじめとする都市計画道路の整備を計画的、効率的に進めます。	令和4年度は物件調査を実施しました。今後も主要な都市施設として都市の健全な発展のために整備を進める必要があります。また、国や県が整備する都市計画道路については今後も要望活動を実施します。	土木課	A
(2) 都市計画道路の見直し ・社会・経済情勢の変化等をふまえ、都市計画道路の見直しを進めます。	過年度に実施した都市計画道路の見直し検討を踏まえ、都市計画変更の手続きを行いました。	都市整備課	A
(3) コミュニティバスの利便性向上【重点施策】（再掲） ・市民生活に溶け込んだ移動手段を確保しながら、より効果的な運行体制にするため、地域公共交通網形成計画の見直しを行い、コミュニティバスの利便性の向上を図ります。	弥富市地域公共交通計画に基づき、公共交通網再編を意見交換会を開催しながら実施しています。南部地域では、新しい公共交通のデマンド型乗合交通の導入について、各地区の意見を聞き、令和4年度に社会実験運行を実施するための説明会を実施しました。	市民協働課	B
(4) 地域高規格道路の整備促進 ・一宮西港道路の早期の事業化に向け、関係自治体で国や県等の関係機関に対して、引き続き要望してまいります。	一宮西港道路推進協議会で要望活動を実施し、国が主体となって概略ルート及び構造の検討に着手することが決定しました。今後も要望活動を実施します。	土木課	A
(5) 国・県道の整備促進 ・国道1号の4車線化及び桁下が低く、堤防が断面不足をしている尾張大橋の架け替えの早期事業化や名古屋第3環状線及び弥富名古屋線等の早期完了に向け、引き続き要望してまいります。	国土交通省に対して4車線化及び尾張大橋の架け替えの要望を実施しました。また、名古屋第3環状線の整備促進の要望も実施しました。今後も要望活動を実施します。	土木課	A
(6) 市道の整備 ・幹線道路の早期整備を進めるとともに、老朽化した道路施設を計画的かつ効率的に維持・管理します。	予定通り事業を実施しました。今後も市民生活の利便性並びに交通安全の向上のために道路整備を実施し、老朽化した道路を適切に維持・管理します。	土木課	A
(7) 橋りょうの維持管理 ・定期点検において早期に修繕が必要と診断された橋りょうについて、修繕の優先順位を定め、計画的な修繕を図ります。	予定通り事業を実施しました。今後も重要度と緊急性を総合的に判断し、優先順位の高い橋りょうから修繕を実施します。	土木課	A

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
道路交通網の整備	%	31.3	↗	36.6
コミュニティバス交通網の整備（再掲）	%	10.7	↗	

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値 (目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(1) 都市計画道路改良率	%	44.7	44.7	44.7	44.7	48.4	→	↗	
(6) 市道改良率	%	47.0	47.4	47.6	47.8	47.9	↗	↗	
(6) 市道舗装率	%	93.3	93.5	93.5	93.6	93.7	↗	↗	
(7) 橋りょう修繕箇所（累計）	橋	12	12	13	15	19	19	24	

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1)	都市計画道路穂波通線街路整備事業	土木課	引き続き穂波通線を整備していきます。また、県が進めている都市計画道路も整備を促進してもらうため要望を行っていきます。	現状維持
(3)	コミュニティバス運行事業（再掲）	市民協働課	令和3年3月に改訂した弥富市地域公共交通計画に沿って、地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成のため、地域の意見を聞きながら、順次各ルートの公共交通網再編を行います。令和5年度にはデマンド型乗合交通が受け入れられるのか、実験運行を行い検証していきます。	改善
(6)	道路改良事業	土木課	今後も市民の要望や安全性に問題のある箇所の歩道設置など道路整備を進めていきます。鎌倉踏切・鎌倉308号線の歩道設置に向けた事業を進めており、4年程度の期間で各詳細設計を完了し、5年後、6年後に踏切改良工事・鎌倉1号橋の架け替え工事などを計画しています。多くの費用が必要となります。	現状維持
(7)	橋りょう整備事業	土木課	橋りょうの点検を適切に進め、修繕の判定が出ている橋りょうは、国庫補助金を活用しながら順次補修を行います。今後も、橋りょうの修繕については計画的に進めていきます。	現状維持
施策の今後の方針 【ACTION】		国・県道など地域高規格道路等の整備については、各協議会等を通し、国・県への要望活動を継続していく必要があります。また、市道については、引き続き幹線道路や生活道路等の整備を進めるとともに、弥富市道路修繕計画や橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、継続的に修繕していくことで、市民の安全性や利便性の向上を図っていく必要があります。コミュニティバスをはじめとする地域公共交通につきましては、地域の特性や実情に沿った公共交通網の編成を行っていく必要があります。		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1)	都市計画道路穂波通線街路整備事業	土木課	土木グループ	令和5年7月12日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	
	主要施策	1	都市計画道路の整備	
	主要事業		都市計画道路穂波通線街路整備事業	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	都市計画道路の整備を計画的、効率的に進め、自動車交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図ります。					主な協働・ 関連団体等
事業概要	都市計画道路穂波通線の今後の整備予定地の買収を進めます。国道1号線との交差点の詳細設計を委託し、愛知県公安委員会と設計協議を行います。					
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	

■事業費(単位:千円)**[DO]**

事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	物件調査委託料	7,425	物件調査委託料	7,500	用地費及び補償費	130,000	物件調査委託料	7,000
(補助額)	3,410	(補助額)	2,625	(補助額)	26,000	(補助額)	2,625	
土地購入費	583	土地購入費	600	測量設計等	10,600			
(補助額)		(補助額)		(補助額)	3,000	(補助額)		
不動産鑑定料	451	不動産鑑定料	544					
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合計	8,459	合計	8,644	合計	140,600	合計	7,000	
(補助額)	3,410	(補助額)	2,625	(補助額)	29,000	(補助額)	2,625	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(1) 都市計画道路改良率	%	44.7	44.7	44.7	44.7	48.4		→	↗

指標の分析

物件調査を実施しましたが、整備は行っていないため、改良率の変化はありませんでした。今後も都市の健全な発展のため、事業の推進に努めます。また、国や県が整備する都市計画道路については整備促進のための要望を行います。

■事業の評価**[CHECK]**

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	都市計画道路に位置づけられており、自動車交通の円滑化及び歩行者の安全確保のためにも、道路整備並びに歩道設置が必要です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	物件調査につきましては、次年度以降に実施する物件補償金を算出するための業務であり、適正に積算し、入札を経て契約しました。コスト削減には繋がりませんが、次年度以降の物件補償を適正に行うために実施しました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	道路管理者である市が実施します。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	道路整備及び歩道設置は市民の安全確保に繋がります。



■今後の進め方**[ACTION]**

課長意見	方向性
引き続き穂波通線を整備していきます。また、県が進めている都市計画道路も整備を促進してもらうため要望を行います。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3)	コミュニティバス運行事業（再掲）	市民協働課	交通防犯グループ	令和5年7月14日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	○
	主要施策	3	コミュニティバスの利便性向上	
	主要事業		コミュニティバス運行事業（再掲）	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る			
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	通学・通勤から通院や買い物など、市民生活利便性の向上、高齢者を始めとする交通弱者の移動手段を確保します。					主な協働・ 関連団体等	弥富市地域公共交通活性化協議会	
事業概要	設定した3ルートにおいて、きんちゃんバスを運行します。 ・北部ルート2台 ・南部ルート2台 ・東部ルート1台						関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市地域公共交通計画
事業の開始・ 終了	開始年度	平成24	年度		終了年度	令和10		年度

■事業費(単位:千円)[DO]

事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	113,083	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	119,970	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	119,970	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	119,970
(補助額)	5,914	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018	
飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	195	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
その他(役務費等)	79	その他(役務費等)	93	その他(役務費等)	93	その他(役務費等)	93	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合計	114,357	合計	121,363	合計	121,363	合計	121,363	
(補助額)	5,914	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度

指標の分析

■事業の評価(CHECK)

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	通学・通勤・通院・買物などの市民生活の移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消のため、公共交通としてコミュニティバスを必要としています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	弥富市地域公共交通計画に基づき、公共交通網再編を意見交換会を開催しながら実施しています。南部地域では、新しい公共交通のデマンド型乗合交通の導入について、各地区の意見を聞き、令和4年度に社会実験運行を実施するための説明会を実施しました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	コミュニティバスをはじめとした公共交通は、第2次弥富市総合計画、弥富市都市計画マスタープラン、弥富市立地適正化計画、弥富市総合交通戦略などの関連計画を踏まえ実施することが必要となり、市が地域の意見を聞きながら市全体における計画的な実施が必要となります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	コミュニティバスを始めとした地域公共交通は、総合計画における防犯・交通安全対策の推進を図るために必要な事業です

■今後の進め方(ACTION)

課長意見	方向性
令和3年3月に改訂した弥富市地域公共交通計画に沿って、地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成のため、地域の意見を聞きながら、順次各ルートの公共交通網再編を行います。令和5年度にはデマンド型乗合交通が受け入れられるのか、実験運行を行い検証していきます。	改善

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(6)	道路改良事業	土木課	土木グループ	令和5年7月12日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	
	主要施策	6	市道の整備	
	主要事業		道路改良事業	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	安全で快適な道路環境を整え、老朽化した道路施設を計画的かつ効率的に維持管理することにより市民生活の利便性の向上を図ります。					主な協働・ 関連団体等	東海旅客鉄道株式会社
事業概要	交付金を活用し、法指定された危険な踏切への歩道整備や長寿命化修繕計画に沿った舗装の修繕を行います。 狭小道路の拡幅整備や緊急性の高い劣化した舗装の補修を行います。 ・ JR鎌倉踏切・鎌倉308号線の歩道設置 鎌倉1号橋予備設計・詳細設計、道路詳細設計 ・ 修繕計画に基づく舗装修繕 路面性状調査、舗装工事（六條蛟ヶ地線、中央幹線） ・ 板柵整備、側溝整備、舗装整備						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	橋梁予備設計	9,743	橋梁予備設計	12,000	橋梁詳細設計	12,000	道路詳細設計	30,000	
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	6,600	(補助額)	16,500	
	舗装工事(六條 蛟ヶ地線)	31,667	舗装工事(六條 蛟ヶ地線)	40,000	舗装工事(調査 で選定)	40,000	舗装工事(調査 で選定)	40,000	
	(補助額)	9,881	(補助額)	10,000	(補助額)	10,000	(補助額)	10,000	
	路面性状調査	9,777	路面性状調査	15,000	その他道路改良 工事	65,000	その他道路改良 工事	65,000	
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)		
	その他道路改良 工事	61,739	その他道路改良 工事	76,300	その他舗装工事	85,000	その他舗装工事	85,000	
(補助額)	11,154	(補助額)	3,225	(補助額)	10,000	(補助額)	10,000		
その他舗装工事	64,036	その他舗装工事	59,000						
(補助額)	17,760	(補助額)	11,700	(補助額)		(補助額)			
合計	176,962	合計	202,300	合計	202,000	合計	220,000		
(補助額)	38,795	(補助額)	24,925	(補助額)	26,600	(補助額)	36,500		
成果指標		単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)
			(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(6) 市道改良率		%	47.0	47.4	47.6	47.8	47.9		↗
(6) 市道舗装率		%	93.3	93.5	93.5	93.6	93.7		↗
指標の分析		市道整備の実施により市道改良率が向上しました。今後も市民生活に必要な道路整備を実施します。							
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点		評価の結果						
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 		道路の改良や補修は、市民生活にとって重要であり、車・歩行者・自転車等すべての人が安全で快適に利用するためには必要な事業です。						
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 		計画的に適正な方法で改良・補修することで長寿命化を図ります。						
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 		道路管理者である市が実施します。						
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 		整備を要望されている箇所を重点的に、改良や補修することで安全で快適に通行できるよう努めます。						
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
今後も市民の要望や安全性に問題のある箇所の歩道設置など道路整備を進めていきます。鎌倉踏切・鎌倉308号線の歩道設置に向けた事業を進めており、4年程度の期間で各詳細設計を完了し、5年後、6年後に踏切改良工事・鎌倉1号橋の架け替え工事などを計画しています。多くの費用が必要となります。							現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(7)	橋りょう整備事業	土木課	維持管理グループ	令和5年7月12日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	
	主要施策	7	橋りょうの維持管理	
	主要事業		橋りょう整備事業	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	橋りょう整備は、日常的に安全・安心に通行する事を目的とします。					主な協働・ 関連団体等		
事業概要	定期点検結果において、早期に修繕が必要と診断された橋りょうについて、修繕の優先順位を定めて弥富市橋梁長寿命化修繕計画及び弥富市橋梁個別施設計画に基づき、計画的な修繕・補強を行います。						関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市橋梁長寿命化修繕計画
								弥富市橋梁個別施設計画
事業の開始・ 終了	開始年度	平成28	年度	終了年度	令和10	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	橋梁工事請負費	10,368	橋梁工事請負費	10,000	橋梁工事請負費	6,000	橋梁工事請負費	5,000
(補助額)	4,002	(補助額)	4,400	(補助額)	4,950	(補助額)	2,750	
橋梁点検委託料	30,345	橋梁点検委託料	31,000	橋梁点検委託料	30,000	橋梁点検委託料	30,000	
(補助額)	12,512	(補助額)	13,420	(補助額)	16,500	(補助額)	16,500	
測量設計委託料	4,711	測量設計委託料	6,000	測量設計委託料	6,000	測量設計委託料	9,000	
(補助額)	2,252	(補助額)	2,475	(補助額)	3,300	(補助額)	4,950	
		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合計	45,424	合計	47,000	合計	42,000	合計	44,000	
(補助額)	18,766	(補助額)	20,295	(補助額)	24,750	(補助額)	24,200	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(7) 橋りょう修繕箇所(累計)	橋	12	12	13	15	19		19	24

指標の分析 各年度の点検結果も踏まえ、順次橋りょうを計画通りに修繕しています。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	橋りょうは市民や利用者が日常的に安全・安心に通行するために市民生活上必要なものであり、優先度を決め、点検及び修繕を順次行います。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	設計段階で、経済性や事業効果等を検討し、補助金を活用しています。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	管理者である市が自ら実施すべき事業です。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	橋りょうは日常的に道路を通行するために必要なものであり、全市民に対する安心・安全のための事業です。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
橋りょうの点検を適切に進め、修繕の判定が出ている橋りょうは、国庫補助金を活用しながら順次補修を行います。今後も、橋りょうの修繕については計画的に進めていきます。	現状維持